

第2回七戸町ゼロカーボン推進協議会会議録

開催年月日	令和5年11月20日(月)	
開催時間	午後1時30分～午後2時45分	
開催場所	七戸町中央公民館 大ホール	
出席委員 (15名)	弘前大学地域戦略研究所 所長 本田 明弘	十和田おいらせ農業協同組合 七戸支店長 山本 淳一
	七戸町 副町長 高坂 信一	イオン七戸十和田駅前店 店長 木村 健児
	青森県環境生活部 環境政策課 課長 上村 隆之	東北電力株式会社八戸営業所 所長 堤 幸治
	上北地域県民局地域農林水産部 畜産課 課長 佐々木 正章	みちのく銀行 七戸支店長(代理) 堰合 弘樹
	中部上北広域事業組合 中部上北清掃センター所長 蛭名 博幸	青森銀行 七戸中央支店長 久慈 一貴
	七戸町商工会 事務局長 小山 彦逸	七戸町建設業協同組合 代表理事(代理) 番場 宗幸
	七戸町天間林商工会 事務局専門官 築田 貢	七戸町連合婦人会 会長 天間 愛子
	ゆうき青森農業協同組合 天間林営農センター長 福村 英明	
欠席委員 (0名)		
町長		
事務局 (企画調整課)	企画調整課長 金見 勝弘	課長補佐 中村 孝司
	総括主幹 大池 昭広	
	保健福祉課長 井上 健	総括主幹 天間 雄紀
	農林課長 原 子保幸	
会議次第	1 開会	
	2 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)案について	
	3 前回議事概要確認	
	4 地球温暖化防止に向けた施策(緩和策)案について	
	5 アンケート結果の概要報告	
	6 その他	

	会議経過
(1) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)案について	第2回七戸町ゼロカーボン推進協議会を開催し、七戸町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に関する審議を行った。
事務局	1) 前回議事概要確認 事務局より説明を行った。
会長	2) 地球温暖化防止に向けた施策(緩和策)案について 事務局より説明を行った。
応用地質	次回までに具体的な内容を考えてくるのか。今回のベースとなるのか。
七戸町商工会	今回の案をベースに皆様の意見をもらって具体的な施策に修正する。
事務局	資料2のp4について。同じ施設の名前が二つ上がっているのは何故か。
事務局	誤記のため次回までに修正する。
建設業協同組合	住居への内窓の設置に関する補助あるいは支援を検討している。既設住宅における設置作業は、比較的簡単工事なのか、また、全部屋に設置しなくても滞在時間の長い居間等への設置のみでも十分な効果が得られるのか、ご意見を頂きたい。
十和田おいらせ農業協同組合	設置に係る難易度は家の構造によるため、一概に申し上げられない。設置にあたっては必ずしも全部屋である必要はなく、滞在時間の長い部屋に絞って設置する手法も有効であると考えます。
会長	以前に、本店の倉庫の屋根にソーラーパネルを置けるのではと試算してみたが、費用対効果の観点から置くことができなかつた。現在の経済状況では対策にコストを割くのは難しい
十和田おいらせ農業協同組合	自家消費のPPAで試算したのか。
会長	はい、自家消費として計算しました。
ゆうき青森農業協同組合	農作物残渣を使ったバイオマスに取り組んでいるが、現状、費用対効果はよくない。また、長期間電気を使用する場所のLED化を、国の補助金を利用して実行しようとしている
会長	再エネ導入や省エネ設備に関する取組は、関心があっても費用がかかる

	<p>という点が難しいと感じている。この点から、金融機関からの意見を伺いたい。</p>
みちのく銀行	<p>設備の変更が費用対効果の点で厳しいことは承知しているので、そこに補助金があればと考えている</p>
青森銀行	<p>ZEBなどに融資や補助金があればいいのかと思う。庁舎の更新が7年後に行われるので、省エネアピールも含めてZEB化を勧めることも有効と思われる。</p>
連合婦人会	<p>デコ活や二重サッシの取り付けはすぐに取り組みそうな内容と感じた。専門の方の出張講義があれば声をかけあって受講してみたい。</p>
事務局	<p>3) アンケート結果の概要報告 事務局より説明を行った。</p>
会 長	<p>アンケート対象者は1,500人とのことだが、町人は何人程度なのか。</p>
事務局	<p>アンケート対象となる18歳以上の町民は、13,000人強である。全町民の10%超にアンケートを送付した。</p>
東北電力株式会社 八戸営業所	<p>p4 行政が取り組むべきことについて、「地球温暖化や省エネに関する情報提供の充実」を4割強が希望しているとあり、これに対して啓発活動を行うとあるが、現状の広報内容で十分なのか。 子供たちに対する環境学習についても4割近くが優先的に取り組むべきとしており、少子化が進む中で、20年後、50年後の将来を見据え、今の施策が今後もそれでいいのか検討し続ける必要があると考える。 また、電力の使用量を減らしたいが方法が分からないという回答があった。東北電力でも省エネキャンペーンや節電の手法の紹介などを行っているのだが、それについてももっとアピールすべきと感じた。</p>
本 田	<p>子供向けのアンケートは何か予定しているのか。</p>
事務局	<p>12月に中学生向けのアンケートを予定している。</p>
県環境政策課	<p>県としても情報提供が大事であるが、難しいとも感じている。先日県の広報活動として、ホームセンターの店頭で「断熱DIY」と称してPRイベントを行った。断熱効果を感じてもらうために体験ブースを設け、省エネに係る情報提供及び温暖化対策意識の向上を図った。</p>
イオン 七戸十和田駅前店	<p>町民も事業所も、省エネに取り組もうという意識はあるがコストがネックになっていると感じた。 町内に多い築31年以上の建物へのアプローチをどうするかという視点も重要と考える。 一番エネルギーを使うのは冷暖房であるので、そのコストを減らしていくことが重要ではないか。</p>

<p>上北地域県民局地 域農林水産部 畜産課</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>施策の認知度は意外と上がらないものなので、PR方法を工夫するなどアピールにより力を入れていくことが大事ではないかと感じた。</p> <p>アンケートにおいては畜産バイオマスに期待している声があるが、資料2の基本的構想2の中に畜産バイオマスの記載がないのはなぜか</p> <p>副産物として出てくる液肥の利用法がまだ決まっておらず現状載せていないところだが、今後はそこも含めて協議を行い検討していく</p> <p>(2) その他 1) 今後の予定 令和6年1月下旬に第三回協議会を開催予定。 今回の内容を踏まえてより計画を具体化していく</p>
--	--